

第 3 回日野市指定管理者候補者選定委員会議事要点録

日時	平成 23 年 8 月 31 日（月）午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分
場所	市役所 4 階 庁議室
出席者	坪島委員長、鈴木委員、菊池委員、岡村委員 萩原企画部長（副委員長）、栗原総務部長、大坪まちづくり部長（勤労・青年会館担当）
議題	日野市立交流センター（6 施設一括）及び日野市勤労・青年会館応募事業者によるプレゼンテーション 委員長より開会のあいさつ 1. 本日の流れ及び審査手順の説明 2. 審査 1（日野市立交流センター（6 施設一括）：株式会社 日野市企業公社） 3. 審査 2（日野市勤労・青年会館：株式会社 日野市企業公社） 4. その他
議題 1	●委員長より開会のあいさつ 委員長よりあいさつ ●本日の流れの説明・審査手順の説明 事務局（企画調整課長）より説明 日野市立交流センター（6 施設一括）及び日野市勤労・青年会館の応募者のプレゼンテーション ・日野市立交流センター（6 施設）の応募者 1 社（公募） ・日野市勤労青年会館の応募者 1 社（公募） ・担当課より施設の概要、採点表の説明 10 分 ・事業者による説明 20 分 ・質疑 10 分 ・採点 10 分 ・その他 前回質問のあった、七生公会堂のホール足元灯が使用しない時にも点灯している事については、消防法により定められている誘導灯であり、点灯しなければならないとなっている旨説明。

議題 2	●審査 1（日野市立交流センター（6 施設一括）：株式会社日野市企業公社） ●地域協働課長より説明（施設概要説明、採点表の説明） ＝主な質疑＝ （質問）提案書 P 13 にある、特に利用率の低い東町交流センターについて、他の高いところのノウハウがどう生かされているのか。 鍵の管理を自治会が行っているのであれば、自治会の会員であれば誰が管理しているのかわかるはずだ。 8 月と 3 月の利用率が特に低い、そのなかで何ができるか企業公社に問うつもりだが、担当課がどう指導しているのかをまず聞きたい。 （回答）当時、東町地区センターがあった場所について区画整理事業で取り壊さなければならなかった、地区センター建替を計画していたが、建替後は交流センターとなったが、管理形態を従前のとおりとしたため自治会が管理している。 毎月の月報のなかで利用率の報告があり、年度終了後に 1 年間の総括した年次報告がある。その中で改善を要する箇所について指導を行っている。 （質問）指導に対してどのような反応があつてどう対応しているのか。 （回答）交流センターは誰でも立ち寄れる場所として活用できるのが、共通の考えだが、東町が交流センターと位置付けられてからも無人で対応しなければならないところであるため、そこまで至らない部分もあるが、その上で何が出来るか催し物ができないかということであるため、他のところと違うというところを理解ください。 （意見）自治会とどうコミュニケーションを図っていくかという提案があるべきだ。 いかに施設の特性を生かしていくかが見えない。 （質問）豊田駅北交流センターについてパソコンを充実するとあるが、地域協働課では他の施設まで発展させていく考えなのか。 （回答）豊田駅北交流センターは、事業については生涯学習課が行っており、施設管理だけを行っている。他の施設までパソコンを設置していく考えは今のところない。 豊田駅北交流センターを今後、パソコンを止めて普通の集会施設とするのか、豊田駅北の立地を含め、今後生涯学習課と協議をしていくことが課題である。 （質問）担当課としてどのような指導をしているのか。 （回答）平成 21・22 年度の評価委員会で提案があつた事項を含め取り組むよ
-------------	--

うに指導している。

●応募事業者による事業計画書に基づくプレゼンテーション

＝主な質疑＝

(質問) 利用率アップのために公民館との連携とあったが、公民館の生涯教育基本計画をまとめたときに、公民館の数が少なく生涯学習の地域格差を無くすために平山交流センターを利用するというのを提案している。これを積極的に取り組んでほしい。

交流センターによって運営委員会というのがあるがこれはどういうものか。

(回答) 平山交流センターについては、企業公社社員が責任者として平山に配置していくので、利用促進のための取組みを具体的に進めていく。

運営委員会については、落川と南平駅西の 2 館ですが、交流センターは市の施設であるものの地域の中核施設としてできるだけ地域が主体的に利用していただくなかで運営委員会におまかせしている。指定管理者としてその中に入っていきうまく連携して運営していきたい。

(質問) 運営委員会の人たちが優先的に使えるようなことはしていないか。

(回答) 運営委員会に団体登録をしており登録団体が優先となっている。

(質問) 東町の利用率が悪いが前回の評価委員会のときにも、子育てのお母さんたちが自由に使えるように開放をしたり子育て支援の講座を行ったりして行うことを提言しているが、どのように取り組んでいるのか。

目安箱にはどんな声があるか。シルバー人材センターへの苦情が多いのか。

緊急時の対応で A E D の講習は利用者にも行っているか。

(回答) 東町については、自治会管理のため自治会と調整をしなければならないが、子育ての N P O と連携できるか調整をしている。

A E D の講習は地域の自治会や利用団体にも行っていきたい。

目安箱には今のところ声は 1 件もない。

(質問) 自治会との調整となると自治会以外の人には排除され足が遠のいてしまわないか。

(回答) 東町については、鍵の保管から受付まで自治会にお願いしている。自治会以外の人を使いにくくなることにならないように気を使っている。1%でも利用率を上げたいという思いで提案(取組み)について話しをした。けっして排除ではない。

(質問) 待ちの姿勢ではなく声無き声をどう聴くべきでないか。

	(回答) 待ちでなく、個人、団体から聴いたことを伝え利用率アップにつなげている。 自治会管理、運営委員会管理のところも、自分たちだけでなく一般の人に広く利用してもらおうとしている。 (質問) 貸借対照表のなかで、販売費は会社全体の数字か。 (回答) 会社全体です。 (質問) 光熱水費の割合が高いがどう考えているのか。 (回答) 指定管理している各施設の過去 2 年間の実績の積み上げです。 (質問) 諸経費の中に本社社員の給与が入っているのはおかしい。 (回答) 人件費だけでなく企業公社本体の維持にかかる経費として考えている。 (質問) 本社の経費（諸経費）について人件費を含むと募集要項に載せているのか。 (回答) 収支計画書については市として受けているのでその考え方については市が整理していく。 このことは別の場で整理していく。 (質問) シルバー人材センターが受付を行っている 4 館について、シルバーの人を対象に接客研修を行っているのか。 (回答) 現場、本社社員全てに対して行っている。 (質問) 東町について鍵の受け渡しはスムーズにいつているのか。 (回答) スムーズにいつている。 (質問) 無人施設の事故の対応は指定管理者が直行するしか方法はないのか。 (回答) ありません。 (質問) 緊急連絡体制は各施設へ張り紙してあるのか。 (回答) ありません。 (意見) この件はきちんと対応願います。 (質問) 平山に業務点検委託がはいっていないのはなぜか。 (回答) 平山は複合施設なので図書館で対応しています。 (質問) コピー機のリース料が違うが、公社として施設ごとにばらばらなのか。経費節約の観点からしてどうなのか。 (回答) コピー機は日野市がリース契約して設置してあったものを指定管理を受けたときに引き継いだものと指定管理者となってから新たに置いたものがあるが、交流センターには元々コピー機がなく、利用者からの要望に応える形で平山と新町に指定管理者としてリース契約している。 ●採点
--	--

議題 3	●審査 2（日野市勤労・青年会館：株式会社 日野市企業公社） ●産業振興課長より説明（施設概要説明、採点表の説明） ＝主な質疑＝ （質問）帰宅困難者（3月11日震災）への対応は行政指導があったのか。 （回答）行政指導があった。 （質問）集客の方法として商店街も含めた協力は考えているか。 （回答）連携をしながらの活用方法を民間事業者にも協力を得ながら検討していく。 （質問）使用料金の見直しは検討しているのか。 （回答）勤労・青年会館だけでなく、市の施設全体において利用料金の見直しを企画調整課が調整をしている。 ●応募事業者による事業計画書に基づくプレゼンテーション ＝主な質疑＝ （質問）月曜日の臨時開館に対する要望はあるか。 （回答）平成18年度から継続しており、要望はあると認識している。 （質問）開館利用日を増やしたという費用対効果はどうか。 実績、人件費等の必要経費、効果がわかると良い。 （回答）月曜日開館の実績と、必要経費については後日整理して回答をする。 （質問）ヘルストロンは部屋に置くのと、玄関付近に置くのとでは、利用者の声はどう差がでるか。 （回答）勤労・青年会館はヘルストロンを置くことを前提に出来ていないが、多くの方が利用するなかで交流の場になっているため、入り口付近にあるのも良いと思っている。 （質問）ゴミを置く敷地はあのままなのか。 （回答）周辺の商店の方がゴミを出している。その横のスペースは防火水槽となっている。 （質問）和室の利用率を上げるために、椅子、敷物等を置いて、高齢者等にも使用しやすいようにすると良い。 （回答）予算の都合もあり、和室用の椅子は現在1脚。 （意見）特色のある講座を実施し、新しい利用者を取り込むことが重要。 地元の人を巻き込んで、手作りでも良いので椅子を置くと利用率の向上に繋がるのではないか。 （質問）業務委託料が多いので、点検業者を他施設とまとめて一つの業者で行う
-------------	--

議題 4	ことで、コストを下げられるのではないか。 (回答) 委託については3社以上に見積もりをとり、1番安いところと契約をしている。 (質問) 立川の6億円事件が起きたが、事件発生時に、施設のカギを閉めたりするのか。 (回答) 報道陣は多かったが、被害等は無く、カギを閉めたりはしていない。防犯情報が入れば、各施設に注意を促がすため情報を流す。警備会社に通じる防犯設備も設置している。 (質問) 帰宅困難者への対応マニュアルは作成しているのか。 (回答) 危機管理マニュアルは作成しているが、帰宅困難者という文言は入っていないため、マニュアルに入れたいと思う。 ●採点 ●その他 事務局（企画調整課長）より説明 ・採点表について 今回の採点集計表は次回に配布する。 前回の採点表の集計表（日野市立とよだ市民ギャラリー、日野市民会館、七生公会堂、七生福祉センター（3施設一括））を事務局から配布した。 ・日程について 次回10月5日（金）13：30～ 庁議室 ～第3回日野市指定管理者候補者選定委員会終了～
-------------	---